

令和元年度 東北地域における人材確保等事業について

令和元年10月
東北経済産業局 産業人材政策室

東北地域における人材確保・定着支援のスキーム

● 東北地域における人材確保・定着支援のため、次の事業を実施。

- ① 各県事業によるハンズオン支援（人材ニーズの棚卸し、魅力発信、マッチング支援）
※被災三県及び水産加工業に対しては、復興予算の活用により更に深掘りした支援を実施。
- ② 現在及び将来的な人材母集団形成（UIターン促進、新しい働き方の提案）

一般会計予算：平成31年度東北地域中小企業等人材確保支援事業

復興特会予算：平成31年度東日本大震災被災地域中小企業等人材確保支援事業

【事業イメージ】

②人材母集団形成

人手不足が深刻な被災三県をモデルに提案・実証。
より広域的な取り組みへ

プロボノ実証事業(3県)
(一社)IMPACT Foundation
Japan

UIターン促進事業(3県)
(株)学情、(株)クオリティ・オブ・
ライフ

連携

①ハンズオン支援

青森県：材(株)

秋田県：(株)あきた総研

山形県：(株)フィデア総合研究所

岩手県：(公財)いわて産業振興セン
ター、岩手県中小企業団体中央会

宮城県：
(株)プロジェクト地域活性

福島県：
(一社)キャリア支援機構

支援企業の選定

※域未来牽引企業、
地域中核企業等に対
して、当局からアンケ
ートを実施する他、各
県の支援ニーズを抽出
するためのセミナーを
開催。

水産加工業人材
確保事業(3県)
(株)流通研究所

企業に対するハンズオン支援

- 東北各県の状況を踏まえて、**企業の経営課題・人材ニーズの棚卸しから、魅力発信力の強化、マッチングの場の提供**まで、企業の成長に必要な人材を地域内外から確保する取組を総合的に支援。

支援企業の選定

※地域未来牽引企業、地域中核企業等に対して、当局からアンケートを実施する他、各地域の支援ニーズを抽出するためのセミナーを開催。

専門家派遣

専門家派遣等により下記支援を実施（集中支援）。

- ①経営課題の掘り起こし、経営ビジョンの明確化
- ②①をふまえた求人像の確立、人材確保ノウハウ等



魅力発信

- ①企業で働く魅力を発信するためのツール（情報誌、Webサイト、SNS）を運用。
- ②学生や求職者と経営者等との意見交換を通じて、中小企業で働く魅力を訴求。



マッチング

・定着支援

- ①企業の成長に必要な人材を、地域内外から確保できるマッチングの場を提供。
- ②内定辞退や従業員の離職の低減を図るため、定着支援を実施。



UIJターン促進の取組

- 潜在的なUIJターン予備軍に対する働きかけにより、人材母集団を形成。
- また、首都圏人材と企業の「出会いの場」を提供することにより、マッチング支援を実施。

企業の魅力発信

- 被災地域にUIJターンを希望する人材や被災地域と何かしら関りを有する「関係人口」等に対し、Webサイトやメルマガ、SNS等を通じて情報発信・拡散を実施。
- 地域の現状を理解し、中小企業の魅力を訴求することにより、マッチングの成功率を高める工夫を行う。



マッチング支援

- 転職支援のWebサイト等を活用し、企業の魅力や求人条件等を紹介。
- 首都圏等において、中小企業と求職者のマッチングイベントや交流会等を実施。



潜在的な求職者を発掘

首都圏等の人材を対象に、地域の現状や企業の取組等に関する情報発信を行うワークショップやセミナー、シンポジウム等を開催し、地域で働く選択肢を提示。



「社会課題先進地」における「新しい働き方」の提案（プロボノ実証事業）

- 人手不足が顕著な東日本大震災被災地域において、「将来的な人材母集団形成（中企庁「人材力研究会」より）」を見据えた「新しい働き方」を提案。併せて個々人のキャリア形成をきめ細やかに支援することが重要。
- 「社会課題先進地」と評される被災地域だからこそ、首都圏人材による課題解決型のモデル実証が可能。本事業を通じて、社会課題解決型の創業や新事業創出にも繋げる。

首都圏MEET UP（3回）

- ・ キャリアモデル（※）の説明
 - ・ トークセッション
- 母集団形成（150名）

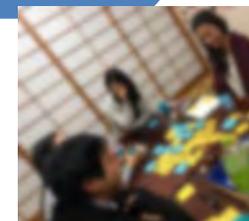


プロボノマッチング（2回）

- ・ プロボノ受入企業の紹介
- ・ 当該プロボノで得られるキャリアパーツの提示

プロボノプロジェクト（4社）

- ・ 参加者：20名（1チーム5名程度）
- ・ コーディネーターを配置し、伴走型支援（4ヶ月程度）を実施。
- ・ 派遣回数：複数回



広報・メディア発信による普及・啓発

キャリアモデル形成

（※）キャリアモデル：人生100年時代を迎え、個々人が様々なキャリアを積み上げていく際に、それぞれの活動にレバレッジを効かせつつシナジー効果を発揮することで、個々人が高い生産性を発揮し、理想のキャリアを形成する。結果、創業や新事業創出等にも繋がる。

平成31年度「東日本大震災被災地域中小企業等人材確保支援事業」 水産加工業イノベーション人材確保事業

【目的】 三陸沿岸の水産加工業への経営環境の変化に対応した強い競争力を有する事業モデルの開発、経営システムの構築及び新市場の開拓等の水産加工業としてイノベーションを図り、その上でそれぞれの企業に応じた人材を確保することを目的とする。

【事業イメージ】

STEP1

STEP2

STEP3

【イノベーション講座】

大学研究者やイノベーターによる講義
や討論を通じた認識の共有、学びの場

対象：三陸地域の水産加工業者の経営者、従業員（関連産業を含む）、支援機関など最大30名程度
内容：講義のテーマは、事業者の生声などを参考にしつつ、「海外輸出」、「共同配送」、「ブランド化」、「人材育成」など複数のテーマ別に構成

【テーマ別研究会】

地域ごとの課題解決や
イノベーションの“探索・実践の場

対象：同左
内容：イノベーション講座の受講者を中心に共通の課題や問題意識を持った関係者が協力して課題解決やイノベーションの探索・実践に踏み出していくための場
方法：地域・事業者や課題に精通した人材を「地域プロモーター」を配置し、研究会の立ち上げや専門家、自治体、支援機関との連携をサポート

【マッチング支援】

必要とされる人材の確保

対象：同左
対象人材：イノベーション講座やテーマ別研究会でイノベーション強化を図る企業の求める人材
内容：人材マッチングイベント等を通じて必要な人材を確保

※STEP1、2の取組を通じて三陸の水産加工事業者等の
イノベーションの強化のための必要な人材像を明確化